

令和5年度「埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業」 地域ミーティング

飯能市・日高市 取組内容について報告

2024年1月31日



(実証事業実施団体)

株式会社エルフェンスポーツクラブ

発表者：取締役統括 鈴木 恵朗

【進行次第】

- ① 実証事業実施団体 紹介
- ② 実証事業取組み前提条件
- ③ カリキュラムの基本設計
- ④ 事業イメージ図
- ⑤ 各市別取組状況
- ⑥ 取組内容の情報提供
- ⑦ 参加者の感想、意見
- ⑧ 現在の評価と今後の課題

① 実証事業実施団体 紹介

株式会社エルフェンスポーツクラブ



【ホームタウン】

飯能市

日高市

狭山市

熊谷市

【サポータータウン】

蕨市

WE
LEAGUE

女子プロサッカーリーグ 所属

ちふれASエルフェン埼玉

② 実証事業取組み前提条件

- 実施自治体(飯能市・日高市)各教育委員会、各中学校校長先生の合意が取れていること
- 実施競技:サッカー、ラグビー(ARUKAS KUMAGAYA協力で、1回設定)
- 部活動所属生徒を中心に学校単位及び各校合同での開催とする
- 部活動指導者は参加しない
- 参加者は全てスポーツ障害保険への加入を義務付けとする
- 事業実施場所は中学校グラウンドとする
- 使用施設の用具を利用する
- 施設の開錠・施錠は、合鍵の借用申請書を提出し、実施団体の責任で実施する
- 参加者事前確認は市側で取りまとめ、当日の出欠管理は実施団体がおこなう
- 参加者の個人情報管理は実施団体側でおこなう

③ カリキュラムの基本設計



短期間、短時間で実感の持てる取り組みとすることを基本設計とした。

【取組内容】

- ◆曜日・時間：土曜・日曜の10時・14時から各2時間（準備片付け含む）
- ◆実施期間：11月～翌年1月（予定） 実施回数は4～7回
- ◆参加料：800円／年度 参加時徴収 分割可能

【カリキュラム】

- ① スキル（個人技術＋個人戦術）の習得・向上・意識改革。
- ② ホームワークにもなる

上達のための取り組むべき課題・題材・過程の提供。

つかめ!!

自分のサッカー



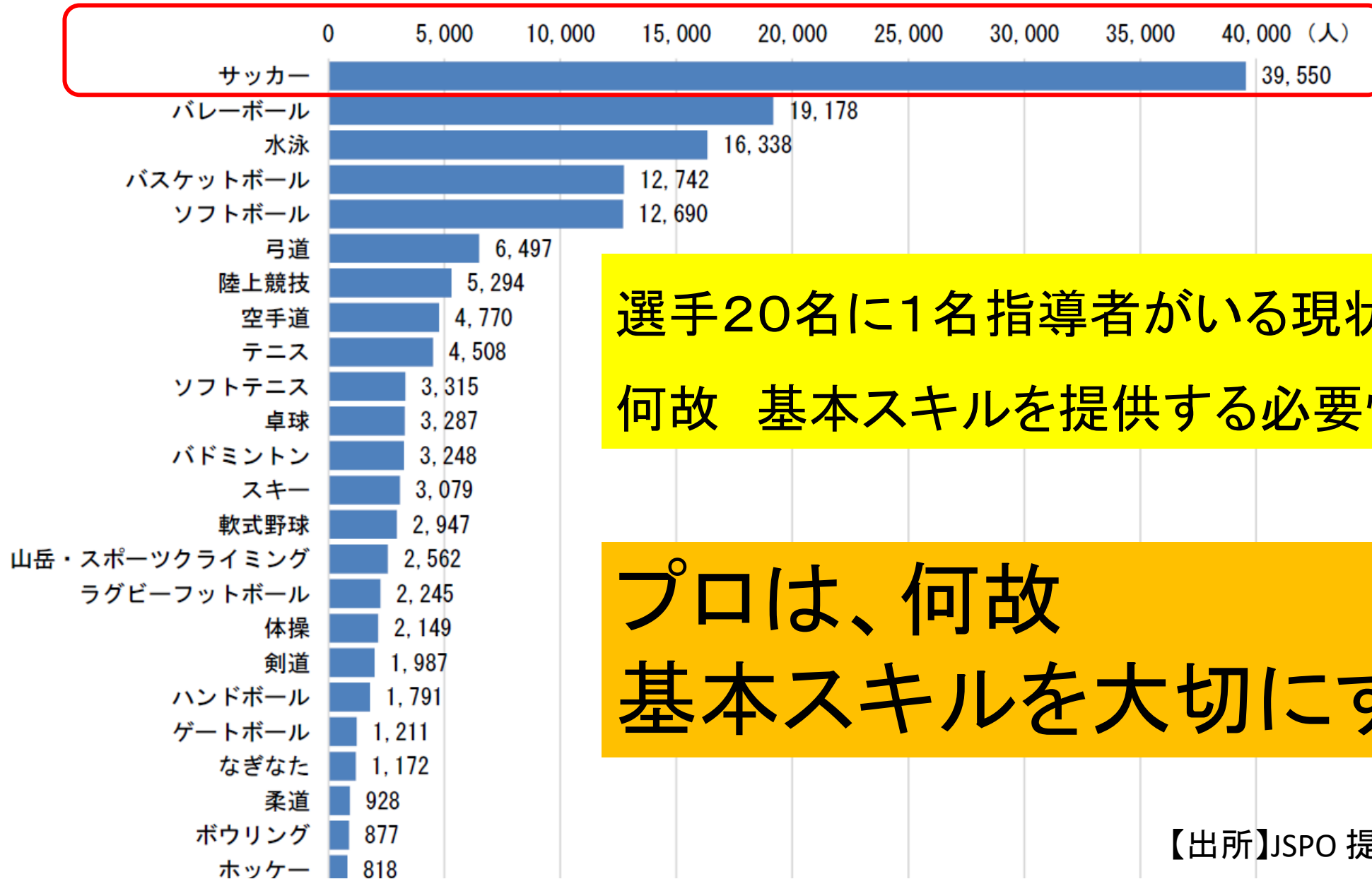
目的は 世界を目指せる
個のスキルアップ

【本事業プログラム・コーディネイター】

伊藤昭朗(いとうあきお) 年令:43歳 出身地:埼玉県川越市

- ◆職務: ちふれASエルフェン埼玉
アカデミーダイレクター 兼 U-18コーチ
- ◆資格: 日本サッカー協会公認A級ジェネラルライセンス
- ◆主な指導歴: Jクラブ(Jリーグ横浜FC)、大学、社会人など
- ◆FA指導関連: 47FA指導者養成インストラクター、
神奈川県国体選抜少年など
- ◆選手教育関連: Jリーグ選手教育プログラム
選手教育研修のファシリテーター
クラブセーフガーディングマネージャーなど

図表 II-9 競技別 登録指導者数 (2020年10月1日時点)



選手20名に1名指導者がいる現状で
何故 基本スキルを提供する必要性があるのか

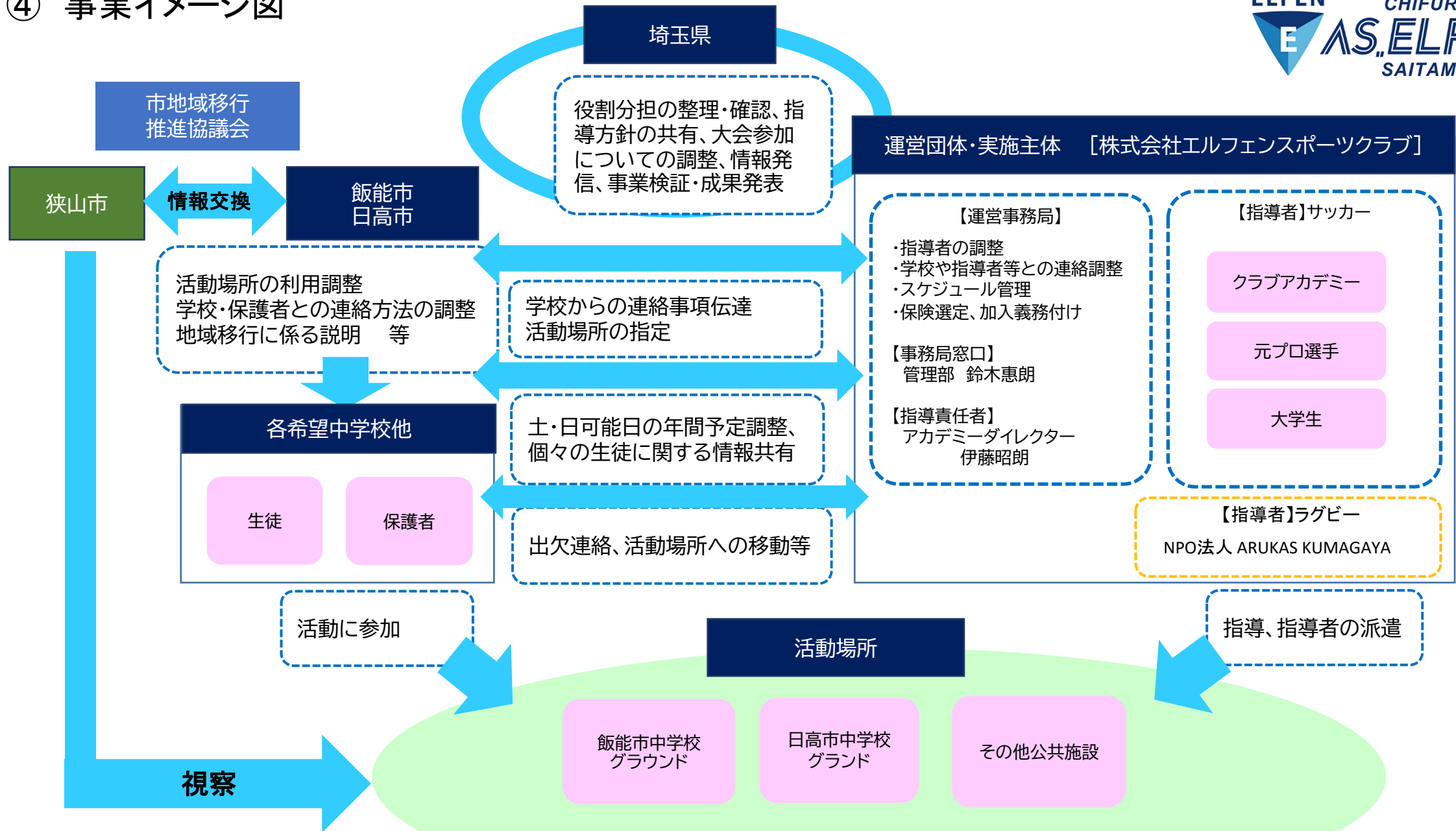
プロは、何故
基本スキルを大切にするのか

【出所】JSPO 提供データ(R3. 3)

【トレーニングカリキュラム(全容)】

<p>目標</p>		<p>①個人スキル(個人技術+個人戦術)の習得・向上・意識改革 ②ホームワークにもなる上達のための取り組むべき課題・題材・過程の提供</p>
<p>目標達成への取り組み</p>	<p>個人スキル</p>	<p>【個人技術】 止める・蹴る・運ぶ・受ける・守る、などの個人技術の習得(意識付けから)と向上 基礎技術+基礎判断=基本技術(ベーシックスキル)の強化(ドリブル、パス、コントロール、プロテクト(キープ)、シュートなど) 【個人戦術】 認知(観る)→判断(選ぶ)→決断(決める)→実行(行う)→中断(止める)、などの一連のプレーの流れ、プロセスの向上 プレービジョン(原理原則、優先順位、本質の理解、プレーアイデアの創出、賢さ)、プレーメモリー(記憶、知恵)の体現</p>
	<p>フィジカル</p>	<p>様々な動き(全身運動・身体操作)を行い(W-UP)、身体に刺激を入れ、サッカーに必要な運動能力、身体能力の向上を狙う ※「正しくボールを扱う」ためには、先ずそれを動かす「自身の身体を正しく扱える(動かせる)」ようにならないといけない</p>
	<p>メンタル</p>	<p>新たな機会に触れることでの発見や気づき、自分自身を色々な角度から見つめ直すことやサッカー(スポーツ)との向き合い方など、改めて自分で考える機会を創出することで、競技理解、競技力向上は勿論、この年代における豊かな人間形成や心身の育み</p>

④ 事業イメージ図



参加者生徒に高度な技術習得の場を提供し活動意欲の向上につなげ指導者支援に貢献する

⑤ 各市別取組状況

【令和5年度】

赤字:飯能市 緑字:日高市 黒記号:伊藤AD予定 青記号:鈴木タカ予定(但し時間は 9時~11時、15時~17時 限定となります)

日

11月		12月		1月		2月	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1 水		1 金		1 月		1 木	
2 木		2 土	合同 ●	2 火		2 金	
3 金	美杉台 ● ●	3 日		3 水		3 土	
4 土		4 月		4 木		4 日	
5 日	武蔵台 ●	5 火	高萩北 ●	5 金		5 月	
6 月		6 水		6 土		6 火	
7 火		7 木		7 日		7 水	
8 水		8 金		8 月		8 木	
9 木		9 土	合同 ●	9 火		9 金	
10 金		10 日	飯能市1中説明会 18-	10 水		10 土	
11 土	WEリーグ(熊谷)	11 月		11 木		11 日	
12 日		12 火		12 金		12 月	
13 月		13 水		13 土		13 火	
14 火		14 木		14 日	皇后杯(QF)	14 水	
15 水		15 金		15 月		15 木	
16 木		16 土	合同 ●	16 火	日高市 発表	16 金	
17 金		17 日	皇后杯(熊谷)	17 水		17 土	合同 ▲ ▲
18 土		18 月		18 木		18 日	
19 日		19 火		19 金		19 月	
20 月		20 水		20 土	合同 ● ● 美杉台 ●	20 火	
21 火		21 木		21 日	武蔵台 ●	21 水	
22 水		22 金		22 月		22 木	
23 木		23 土	WEリーグ(熊谷)	23 火		23 金	
24 金		24 日	武蔵台 ●	24 水	高萩北 ● ●	24 土	
25 土	美杉台 ●	25 月		25 木		25 日	
26 日	WEリーグ(熊谷)	26 火	美杉台 ●	26 金	東松山市 発表	26 月	
27 月		27 水		27 土		27 火	美杉台 ●
28 火		28 木		28 日	武蔵台 ●	28 水	高萩北 ●
29 水		29 金		29 月		29 木	
30 木		30 土	WEリーグ(熊谷)	30 火			
		31 日		31 水	秩父市 発表		

【日高市】 7回予定

【飯能市】 9回予定

⑤ 各市別取組状況 【日高市】

会場	11月5日	12月24日
高萩北中学校	高萩北中 1年 6名 2年 7名 計13名	高萩北中 1年 3名 2年 5名 計8名
会場	11月5日	12月24日
武蔵台小中学校 (合同実施)	武蔵台小中 6年 1名 7年 4名 8年 1名 高麗中 2年 2名 計8名	武蔵台小中 7年 4名 8年 1名 高麗中 2年 1名 高麗川中 7年 8名 8年 2名 計16名



高萩北中



武蔵台小中



部室用具

⑤ 各市別取組状況 【飯能市】

会場	11月3日	11月25日	12月26日
美杉台中学校	美杉台中 1年 11名 2年 3名 計14名	美杉台中 1年 10名 2年 3名 計13名	美杉台中 1年 11名 2年 3名 計14名
会場	12月2日	12月9日	12月16日
飯能第一中学校	第一中 2年 4名 加治中 2年 3名 飯能西中 2年 6名 計13名	第一中 2年 3名 加治中 2年 6名 飯能西中 2年 5名 計14名	第一中 1年 4名 2年 5名 加治中 2年 7名 飯能西中 1年 1名 2年 6名 計23名



【ロイドノート】

学校管理システム
を活用し
出欠確認
感想回収
情報提供
等
借用機器で実施

【トレーニング内容】

【W-UP】身体操作（ライントレーニング）

《意識すること》

- ・ ステップワーク（ドリブルに繋がるように意識）
- ・ 身体の中心にラインを置く、またラインの左右へ移動
- ・ 様々なステップワーク（足の運び方、身体の動かし方）
- ・ 前向き、横向き、後ろ向きを入れる（全方向）
- ・ 頭から伝わり、身体を通り、足へ行き届くような意識
- ・ 常に顔を上げる、試合の中での動きの意識

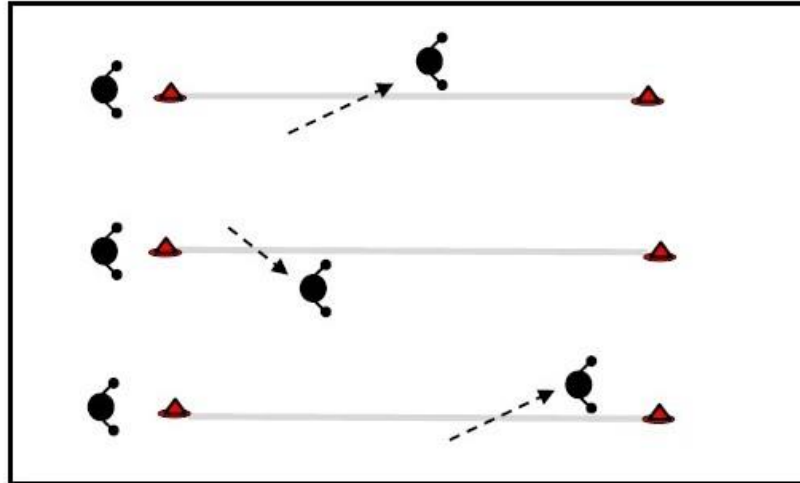
【トレーニング内容】

【ドリブル1】1人称（自分とボールとの関係）

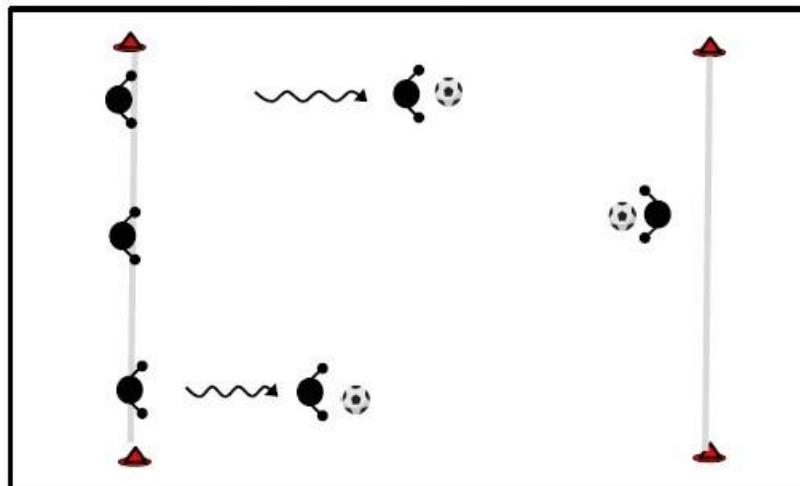
《意識すること》

- ・ 【運ぶ】
- ・ 運び方。身体が先、ボールが後になるように運ぶ
- ・ 身体にボールが付いてくるイメージで
- ・ 顔を上げること、身体とボールが離れないように意識
- ・ 【返す（切り替えし、ターン）】
- ・ 身体がターンする
- ・ 身体の向きを変えてからボールに触る
- ・ 足だけで返さない、身体を回してから
- ・ どのターンの方法を選んでも同じ考え方で

W-UP（身体操作）



TR①ドリブル1



⑥ 取組内容の情報提供

実施したトレーニング内容を
トレーニングメニューとして
書面化し、提供。

生徒も指導者も確認可能

個人でのレッスンに活用可能

また、実施した内容を映像で
録画保存したものを提供予定

書面と映像で記録保存



⑦ 参加者の感想、意見

【高萩北中】エルフェンスポーツクラブ サッカー指導

・実施日)11月5日(日)

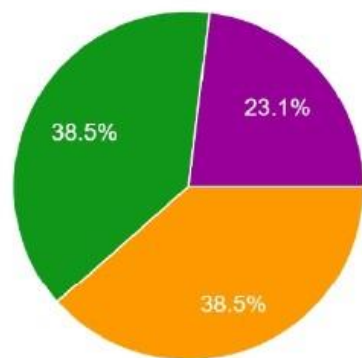
・参加者)13名



第1回目 アンケート結果

今回の部活動の練習時間について

13件の回答

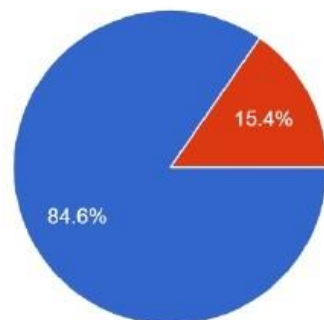


- 長かった
- どちらかといえば長かった
- ちょうどよかった
- どちらかといえば短かった
- 短かった

短いと感じた 62%

今回の部活動は、充実した活動になりましたか。

13件の回答



- 充実した。
- どちらかといえば充実した。
- どちらかといえば充実しなかった。
- 充実しなかった。

充実感が持てた 100%

⑦ 参加者の感想、意見



- ・ボールにいっぱい触れた
- ・色々なボールのコントロールを学べてよかった
- ・この練習でターンの仕方を学べて楽しかったです。 次の練習もお願いします。
- ・今回のステップやボールタッチのコツを学ぶことができてとても充実した体験ができた。
- ・ターンの仕方がよくできた
- ・難しいことや、練習のときに優しく教えてくださってやりやすかったです。
ドリブルや正しい体の動かし方が、参考になりました。
- ・この外部サッカーの指導のおかげで少し上手くなった気がします
- ・わかりやすく練習を説明してくれて楽しかった。
- ・少し成長した気がする。
- ・もう少し練習の強度を上げてても良いと思った
- ・もうちょっとガッツリ練習したかった。
- ・ドリブルからゲームまでと時間がちょうどよく、基本の動きをしっかりと学ぶことができました。
次の練習もよろしくおねがいします

【自己評価】

①個人スキルの習得・向上・意識改革

- ・短時間で充実感を持てる環境は提供できた。
- ・スキルの習得・向上までは個人差はあるが提供できたと感じる。
何故この内容を練習するのは理解出来ていたもので意志ある行動が取れており、意識改革まではいかないが、新しい発見はあったようである。

②ホームワークにもなる上達のための取り組むべき課題・題材・過程の提供

- ・内容が個人スキルの観点で構築できており実際に個人で取り組んでいたことを確認、またチーム練習に取り入れていることも確認できました。

基礎技術は、試合でも練習でも常に再現性のある事であり知れば知るほど上達したと実感できるカリキュラムが提供できたと自己評価しています。

⑧ 現在の評価と今後の課題

【今後の課題】

①部活動の延長線上での事業としての意義

国の求める、地域クラブ移行とは違う方向での取組を行ったがスポーツの基盤を作っているのは部活動であることは現時点で揺るぎのない日本の財産と感じた。

教育と連動した部活動の仕組みを地域クラブで受持つ困難さを感じた。

②スポーツの競技志向からでる弊害

今回の取組は個人スキルを実施したが、現在スポーツ界での基礎技術の解釈が、初心者もしくは低年齢の行うこと程度にとどまり、実戦形式や試合に勝つためのノウハウに指導者は目が向きがちである。

基礎技術は、年齢・レベルにより異なる事項であり常に丁寧に取り組む必要があります。それにより強化はもちろん長くスポーツを楽しめることになります。地域スポーツは楽しむことを最優先にできるか否かが重要であると考察し、今後の課題と考えます。

ご清聴感謝申し上げます。